

# 第三番 十輪寺の御詠歌 (深信調)

(ふるさとの御詠歌)

松 濤 基 作曲



○ × × ○ ○ × × ○ ○ × × ○ ○ × ×  
〔斉唱〕 う ウ--- ま ア--- れ エ--- てーは



○ × ○ × ○ × ○ × ○ × × ○ ○ × × ○  
まずーお もーいーで エーん ふ ゝる さ アーと



○ × ○ × ○ × ○ × ○ × ○ ×  
に ちぎーりー し とももの



○ × × ○ ○ × × ○ ○ ×  
ふかーき まことをー

### 第三番 播磨の国 高砂 十輪寺

生まれては まづおもひ出ん 古里に ちぎりし友の 深き誠を  
(法然上人御作)

法然上人が四国御流罪の道すがら、高砂の浦に立ち寄られて漁夫を教化<sup>きょうか</sup>された霊跡であります。ご滞在はわずかの間でありましたが、村人に対して、仏の本願を信じて真心からお念仏すれば、いかなる罪もたちまちに消えて、必ず救われて行く喜びをさとされました。

**大意** お念仏を唱えたならば、仏の本願の船に乘せられて、必ずお浄土に生まれることができます。もし私が先にお浄土へ生まれましたなら、この世でお念仏の喜びを共にし、お互いに浄土へ往生しましょうと契り合った懐かしい皆さん方の、深い真心をきっと思い出すことでありましょう。どうか皆さんもお念仏に励んで下さって、俱会<sup>くゑいっしょ</sup>一処の喜びを分かち合いましょう。

#### ポイント注意

- 半拍休止で発声するところは、アクセントに注意して弱くならないよう。